

令和7年度シラバス

教 科	科 目	単位数	履修学年・クラス
看 護	人体の構造と機能	1	1 - 1

1. 学習の到達目標

- ・看護のための基礎知識をしっかりと身につけて専門科目の学習を通して看護に適応できる能力を養うこと
によって立派な看護師になることの意識・意欲を高める
- ・解剖学の授業を通して生徒の人権意識を高めるように努める

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	①総論 ②人体の構成 ③人体の器官系 ④運動器系総論 I 骨学総論 II 筋学総論	<ul style="list-style-type: none"> ・人体の区分と名称・方向、人体の位置や体位を示す用語を理解し、また、生理機能について理解し、自分の体でその部位の名称が言える ・人体を構成する細胞、組織、器官とは何かを理解する ・人体がどのような機能系で組み合わさっているかを理解する ・看護者の倫理要領を用いて、人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重し人間的配慮をもって対応することを理解する
2 学 期	⑤体幹・上肢・下肢の解剖学 I. 体幹の骨と筋 II. 体壁の血管系と神経 III. 上肢の骨と筋 IV. 上肢の血管系と神経 V. 下肢の骨と筋 VI. 下肢の血管系と神経 ⑥頭部の解剖学 I. 頭部の骨と筋 II. 頭部の血管 ⑦体液 I. 血液 II. リンパ ⑧循環器系 I. 心臓 II. 血管 III. 血液の循環 IV. リンパ系とリンパ組織 V. 心臓の生理 VI. 循環の生理 血圧	<ul style="list-style-type: none"> ・骨の構造、発生、成長と生理、骨同士の結合の仕方、筋の構造、補助装置刺激、興奮のメカニズムについて理解する ・体幹・上肢・下肢を構成する骨と筋肉そして、血管や神経の名称と運動について理解する ・骨の構成や筋肉の働き、分布する血管や神経の名称などについて理解する ・血液の成分、性状、血液凝固、血液型、リンパなど臨床と関係の深い項目を理解する ・血液の循環について理解する
3 学 期	VII. 脾臓の生理 ⑨呼吸器系 I. 呼吸器系の器官 II. 呼吸の生理 ⑩消化器系 I 消化器の生理	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸の役割を理解し、呼吸運動、呼吸の調節、吸息と呼息の交代リズムなどを理解する ・消化器役割を理解する

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	定期試験（中間 期末）、平常点（小テスト・ノート提出・宿題提出含む）による
------	---------------------------------------

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	看護を行うために、人体の構造と機能を学び、必要な心の働きと健康、生活と健康、社会保障制度と福祉に関する基本的な知識を習得している	看護業務に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫できるようにする	看護に関する諸問題について関心をもち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	人体のしくみと働き（メジカルフレンド社）
副教材	解剖生理ワークブック（照林社）